

生徒会通信 第1号

軟式野球部 昨秋の雪辱果たし、決勝進出!

5月22日(土) 稲永公園野球場

準決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ	2	0	2	0	1	0	5	10
名市工	1	0	0	0	0	0	0	1

第72回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会軟式野球競技の第1

日目が5月22日(土)に稲永公園野球場で行われ、シード校の本校は準決勝で、昨年の秋季大会決勝でコールド負けを喫した名古屋市立工業高校と対戦した。

初回、2死を取られるも、相手のエラーでランナー1塁とする

と、4番加藤駿弥が左越えランニング本塁打を放ち、幸先よく2点を先制する。

この日の先発はエースでキャプテンの吉井涼太。初回、先頭打者にアンラッキーなヒットを許すと、1死後から味方のミスで1点を失う。しかし、後続を二者連続三振に斬ってとり、この回を最少失点で切り抜ける。

1点差に迫られ、追加点が欲しい打線は、3回、先頭の**小松雷悟**が四球で出塁すると、1死後から4番**加藤**が右越え適時3塁打を放ち1点を追



乗じてこの回一挙5点を追加し、試合を決める。

投げては先発の吉井が初回の1失点以降、コントロール抜群の変



化する。さらに続く5番**小宮優人**にも適時内野安打が飛び出し、さらに1点を加える。5回にも、3番**米山快**の適時内野安打で1点を加え、相手の先発を引きずり下ろすことに成功すると、勢いの止まらない打線は、相手投手が変わった7回、先頭の**吉井**がレフトへ2塁打を放つと、2番**小松**が左越え適時3塁打、3番**米山**が右前適時打、4番**加藤**の四球を挟んで5番**小宮**が左前適時2塁打と打線が繋がり、相手のミスにも



化球と威力十分のストレートを武器に、相手打線

につけ入る隙を与えず、三振の山を築く。終わってみれば7回を一人で投げぬき、被安打2、無四球(1死球)、14奪三振と圧巻のピッチングでチームを勝利に導いた。

次回、決勝戦は、初出場が決勝進出を果たした本校昼間部と東海地区大会の出場権をかけて戦う。

(文責:鈴木貴之)

次回予告 決勝戦 vs 城北つばさ(昼) 5月29日(土) 稲永公園野球場E面